



平成22年度 英語教育連環センター フォーラム1



英語教育改革の方向性と授業改善の実際

— 高等学校における言語活動を中心として —

こうごひであき

向後秀明先生

(文部科学省初等中等教育局教育課程課・国際教育課 教科調査官)

関西大学英語教育連環センター (e-LINC) 主催

関西大学大学院外国語教育学研究科 後援

日時：平成22年7月10日(土) 10時40分より15時05分まで

場所：関西大学千里山キャンパス 第1学舎 5号館 E403

阪急電鉄千里山線関大前駅下車徒歩10分

(キャンパスマップ <http://e-linc.gp.kansai-u.ac.jp/>)

講演：向後秀明先生 (文部科学省初等中等教育局教育課程課・国際教育課 教科調査官)

参加費：無料

対象者：英語教員、大学院生、学部生、その他、英語教育に関心のある方

申込方法：申込用紙にご記入の上、メール又はFAXでお申し込みください

問合せ先：関西大学英語教育連環センター (担当：長谷川、植木、足立)

TEL：06-6368-1252

FAX：06-6368-1253

URL：<http://e-linc.gp.kansai-u.ac.jp/>

Email：e-linc@ml.kandai.jp



スケジュール

10:40-10:50	開会行事
10:50-12:20	講演 1
13:30-15:00	講演 2
15:00-15:05	閉会行事



THINK×ACT
関西大学
KANSAI UNIVERSITY



平成22年度 e-LINC フォーラム(1)

英語教育改革の方向性と授業改善の実際 —高等学校における言語活動を中心として—

向後 秀明 氏

(文部科学省初等中等教育局教育課程課・国際教育課 教科調査官)



講演概要

- ① これから日本の英語教育はどのような方向に向かっていくのかについて、小・中・高の接続という観点から新学習指導要領を概観します。
- ② 現在の、特に高等学校における英語の授業及び英語担当教員はどのような実態にあり、そこにはどのような問題が存在しているのかを考えていきます。
- ③ 英語の授業をとおして生徒がどのような力を身につけていくべきなのか、その過程における教師の役割は何であるのかを考えていきます。
- ④ 各学校において、英語教育を改善するためにクリアしなければならない条件とは何であるのかを、みなさんと共に確認していきます。
- ⑤ 授業改革のために取るべき方策として、意味のあるシラバスの作成、4技能の総合的な指導、訳読に代わるサマリー活動、ワークシートの活用、共通指導体制の構築、コミュニケーション能力の評価などを含め、具体的な事例を紹介していきます。

講演者プロフィール

こうご ひであき
向後 秀明 氏

獨協大学外国語学部英語学科卒業。昭和 61 年度～平成 19 年度、千葉県公立高等学校3校で教諭。平成 17～19 年度、千葉県立千葉女子高等学校で SELHi 研究主任。平成 20～21 年度、千葉県教育庁教育振興部指導課指導主事。平成 22 年4月より、現職。2007 年度英語教育界の最高栄誉とされるパーマー賞((財)語学教育研究所)受賞。

スケジュール

10:40-10:50	開会行事
10:50-12:20	講演 1
13:30-15:00	講演 2
15:00-15:05	閉会行事

